



## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月10日

上場会社名 日本カーボン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5302 URL <http://www.carbon.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 尚史  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務統括部長 (氏名) 今井 浩二 TEL 03(6891)3730  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	19,416	△42.4	2,277	△80.8	2,854	△75.3	1,464	△80.7
2019年12月期第3四半期	33,695	2.0	11,847	15.2	11,536	12.2	7,582	15.6

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 981百万円 (△87.8%) 2019年12月期第3四半期 8,056百万円 (21.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	132.35	—
2019年12月期第3四半期	685.37	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	71,079	50,299	61.3	3,936.34
2019年12月期	77,939	51,654	57.9	4,080.33

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 43,560百万円 2019年12月期 45,140百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	100.00	—	100.00	200.00
2020年12月期	—	100.00	—		
2020年12月期（予想）				100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,800	△42.6	2,300	△84.5	3,000	△80.1	1,600	△83.5	144.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 - 社、除外 - 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 3 Q	11,832,504株	2019年12月期	11,832,504株
② 期末自己株式数	2020年12月期 3 Q	766,247株	2019年12月期	769,438株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 3 Q	11,065,016株	2019年12月期 3 Q	11,063,368株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税後のGDP成長率下落に加え、新型コロナウイルス感染症拡大による個人消費の冷え込みとそれに伴う企業マインドの悪化が続き、過去に例を見ない景気の落ち込みに見舞われました。年央には景気の底打ちが見られたものの、鉱工業生産には力強さがなく、自動車などで一部に持ち直しの動きが見られますが、本格的な回復には時間を要するものと見られています。

世界経済は、米国では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い経済は一時的に減速しましたが、その後急速な回復が見られます。欧州では、昨年から続く輸出や鉱工業生産の下落傾向に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大により経済は縮小しました。中国では、一時的にマイナスの経済成長となった後、プラス成長に回帰しましたが、個人消費は力強さを欠いています。米中対立の深刻化が進む中、輸出の先行きが不安視され、不動産開発やインフラ投資主導による経済成長については、その持続性に不透明さが増しています。

このような状況の中、当社グループの主要関連産業であります鉄鋼産業は、粗鋼生産が前年同四半期比で大幅なマイナスとなり、その後も厳しい状況が続いています。半導体関連産業は、データセンター投資が牽引役となり、半導体製造装置の販売が堅調であったことなどから、総じて底堅さを維持しています。

こうした事業環境の中、当社グループは、生産効率の向上と原価および環境負荷の低減を目的とした生産設備の拡充や、販売力を高めるための販売網強化を推進してまいりました。また、企業市民として、コンプライアンス体制の一層の強化・拡充と最良の製品を通して広く社会に貢献すべく品質管理の徹底を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高194億1千6百万円（前年同四半期比42.4%減）、営業利益22億7千7百万円（前年同四半期比80.8%減）、経常利益28億5千4百万円（前年同四半期比75.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、14億6千4百万円（前年同四半期比80.7%減）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

## (炭素製品関連)

電極部門は、鉄鋼産業の生産が落ち込んだことにより販売量は前年同四半期と比較し大幅に減少しました。

ファインカーボン部門は、半導体関連の需要が下支えとなりましたが、その他産業向けでは力強さを欠く結果となっています。リチウムイオン電池負極材は、自動車生産が一時的に停滞したことに伴い、車載向けを中心に販売量は減少しています。

この結果、売上高は174億2千9百万円（前年同四半期比44.6%減）、セグメント利益（営業利益）は19億4百万円（前年同四半期比83.3%減）となりました。

## (炭化けい素製品関連)

炭化けい素連続繊維の製造・販売については、航空産業の低迷が影響し販売量が減少しました。

この結果、売上高は12億9千5百万円（前年同四半期比7.1%減）、セグメント利益（営業利益）は1億7千8百万円（前年同四半期比1.8%減）となりました。

(その他)

その他の事業は、産業用機械の製造・販売が減少した結果、売上高は6億9千2百万円（前年同四半期比16.7%減）、セグメント利益（営業利益）は1億8千2百万円（前年同四半期比25.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ68億5千9百万円減少し、710億7千9百万円となりました。流動資産は、棚卸資産が4億6千8百万円増加したのに対し、売上債権が57億3百万円減少、現金及び預金が29億8千7百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ68億8千6百万円減少し、437億2千万円となりました。固定資産は、有形固定資産が10億7千万円増加、無形固定資産が3千3百万円増加したのに対し、投資有価証券が13億9百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ2千7百万円増加し、273億5千9百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ55億5百万円減少し、207億7千9百万円となりました。流動負債は、仕入債務が25億7千3百万円減少、未払法人税等が17億1千9百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ47億9百万円減少し、160億1千5百万円となりました。固定負債は、長期借入金が5億2百万円減少、繰延税金負債が2億8千2百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ7億9千5百万円減少し、47億6千4百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益が14億6千4百万円であったのに対し、配当金の支払が22億1千2百万円、その他有価証券評価差額金が8億4千5百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ13億5千4百万円減少し、502億9千9百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2020年8月7日に公表いたしました2020年12月期の通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2020年12月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,852	14,864
受取手形及び売掛金	14,010	8,306
商品及び製品	9,153	10,552
仕掛品	4,829	4,532
原材料及び貯蔵品	4,220	3,584
その他	562	1,898
貸倒引当金	△20	△20
流動資産合計	50,607	43,720
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,680	17,051
減価償却累計額及び減損損失累計額	△9,536	△9,773
建物及び構築物 (純額)	7,144	7,277
機械及び装置	44,008	45,478
減価償却累計額及び減損損失累計額	△37,232	△37,851
機械及び装置 (純額)	6,775	7,626
車両運搬具及び工具器具備品	3,264	3,345
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,708	△2,841
車両運搬具及び工具器具備品 (純額)	555	504
土地	3,523	3,522
建設仮勘定	821	959
有形固定資産合計	18,820	19,890
無形固定資産		
投資その他の資産	160	193
投資有価証券	6,044	4,734
繰延税金資産	371	356
その他	1,946	2,186
貸倒引当金	△10	△2
投資その他の資産合計	8,351	7,275
固定資産合計	27,332	27,359
資産合計	77,939	71,079

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,821	3,248
短期借入金	8,390	9,330
未払費用	1,118	877
未払法人税等	1,995	275
賞与引当金	214	522
役員賞与引当金	96	16
工場移転関連費用引当金	317	158
その他	2,770	1,586
流動負債合計	20,725	16,015
固定負債		
長期借入金	3,637	3,135
繰延税金負債	569	286
退職給付に係る負債	757	750
役員退職慰労引当金	43	52
役員株式給付引当金	70	64
環境対策引当金	28	29
資産除去債務	62	62
その他	390	382
固定負債合計	5,559	4,764
負債合計	26,284	20,779
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,402	7,402
資本剰余金	7,857	7,857
利益剰余金	29,689	28,941
自己株式	△1,921	△1,912
株主資本合計	43,028	42,289
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,129	1,283
為替換算調整勘定	49	44
退職給付に係る調整累計額	△66	△56
その他の包括利益累計額合計	2,112	1,271
非支配株主持分	6,513	6,739
純資産合計	51,654	50,299
負債純資産合計	77,939	71,079

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	33,695	19,416
売上原価	17,775	14,013
売上総利益	15,919	5,402
販売費及び一般管理費	4,072	3,125
営業利益	11,847	2,277
営業外収益		
受取配当金	69	70
受取保険金	94	718
為替差益	—	16
その他	111	252
営業外収益合計	275	1,058
営業外費用		
支払利息	61	51
為替差損	42	—
持分法による投資損失	25	110
固定資産除却損	206	137
休止固定資産減価償却費	84	108
その他	166	73
営業外費用合計	586	481
経常利益	11,536	2,854
特別損失		
火災損失	435	247
特別損失合計	435	247
税金等調整前四半期純利益	11,100	2,607
法人税、住民税及び事業税	3,397	648
法人税等調整額	△111	128
法人税等合計	3,285	776
四半期純利益	7,814	1,831
非支配株主に帰属する四半期純利益	232	367
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,582	1,464

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	7,814	1,831
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	274	△854
繰延ヘッジ損益	△6	-
為替換算調整勘定	△55	△5
退職給付に係る調整額	30	9
その他の包括利益合計	242	△850
四半期包括利益	8,056	981
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,841	623
非支配株主に係る四半期包括利益	215	358

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役等に対する株式給付信託 (BBT) 導入)

当社は、取締役等の中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託 (BBT)」を導入しております。

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成27年3月26日)に準じております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、取締役等に対して、当社が定める役員株式給付規定に従って、当社株式および当社株式を時価で換算した金額相当の金銭が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価格(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第3四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額は116百万円、株式数は389百株、当第3四半期連結会計期間の期中平均株式数は404百株となります。また、1株当たり情報の算定上、控除する自己株式に含めております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,470	1,394	831	33,695	—	33,695
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	6	581	589	△589	—
計	31,471	1,401	1,412	34,285	△589	33,695
セグメント利益	11,409	181	244	11,835	12	11,847

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,429	1,295	692	19,416	—	19,416
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	6	740	748	△748	—
計	17,430	1,301	1,432	20,164	△748	19,416
セグメント利益	1,904	178	182	2,265	11	2,277

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。